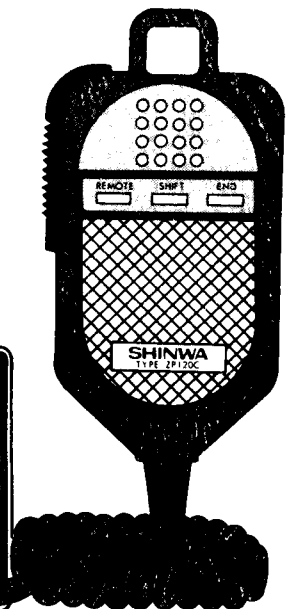
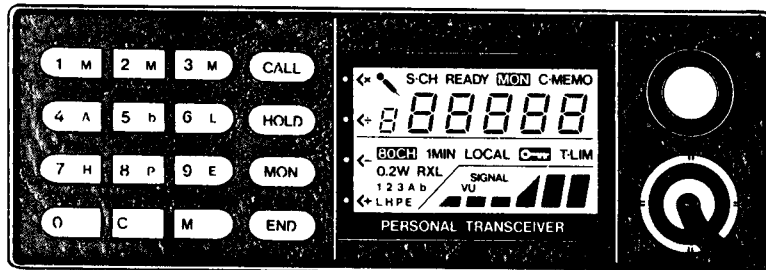


PERSONAL TRANSCEIVER  
 MODEL  
**SC905GV<sub>2</sub>**  
**SUPER SFX**

**取扱説明書**

ご使用に際し、本機の性能を十分に発揮していただくために、本説明書を最後までお読みいただき、正しい使い方により末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

新方式158チャンネル  
 900MHz 5W/0.2W FM



# はじめてのGV スーパーSFX

## 目 次

○ 最初にスペシャルモードにするのは。……………	1
○ 安心ロックをセットする時は。……………	1
○ 最初から使用できるスペシャル機能。……………	1
○ 特種文字入力機能……………	1
○ チャンネルの確認……………	1
○ メモリー群番号自動呼び出し機能……………	2
○ メモリー待ち受けセット機能……………	2
○ 群番号すいとり機能……………	3
○ チャンネル指定機能……………	3
○ チャンネルメモリー機能……………	3
○ 自局免許番号表示機能……………	4
○ 相手局免許番号表示機能……………	4
○ 相手局免許番号吸い取り機能……………	4
○ 免許番号作成機能……………	4
○ ATIS信号カット機能……………	6
○ 群番号解読機能……………	6
○ プライオリティ機能……………	6
○ 解読群番号一発モニター機能……………	6
○ 制御信号妨害機能……………	6
○ スキャンスピード切替機能……………	7
○ 連続モード切替機能……………	7
○ メモリースキャン……………	7
○ 空きCHサーチ機能……………	7
○ 全モード待受機能……………	7

○ スペシャルサーチ機能	7
○ 自動リザーブ機能	7
○ 全群番号リザーブ機能	7
○ PTT自動リコール機能	8
○ タイマーリコール機能	8
○ 多群番号一括リコール機能	8
<b>《その他特殊機能》</b>	8
○ 目覚し時計機能	8
○ ストップウォッチ機能	8
○ フィーバーゲーム機能	8
○ 拡声器機能	8
<b>《その他HOLD機能》</b>	
○ タイマーカット機能	9
○ 全群番号待受機能	9
○ サイドワインダー（追っかけリセット）機能	10
○ セミデュプレックス機能	10
○ 動作音の変更機能	10
○ 群番・CHロック機能	11
○ デジタル秘話機能	11
○ レピーター遠隔制御機能	11
<b>《その他特殊機能》</b>	
○ 切断信号機能	12
○ 送信・受信レベル切替機能	12
<b>《オプション機能》</b>	
○ 送信出力表示機能（オプション）	12
○ 電源電圧表示機能（オプション）	12
○ 本体の温度表示機能（オプション）	12
○ マイクキーの機能	13

○ 切断信号を受信した場合は	13
○ 特殊オプション群番号機能	13
○ 数字キーについて	14
○ CHについて	14
○ モードの切替機能	15
○ CH切替機能	15
○ リザーブメモリー機能	16
○ リセット中の留守番機能	16
○ リセット中の群番戻し機能	16
○ スペシャルサーチリザーブ機能	17
○ リザーブのしくみ	17
○ リザーブを呼び出す	17
○ リザーブに記憶させる	18
○ <b>HOLD</b>	19
○ 表示状態の説明	20・21
○ 送信中の特殊キー	22
○ <b>M</b> キーの機能一覧表	22
○ <b>MON</b> キーのCH指定方法	22
○ <b>CALL</b> キーの機能	22
○ 新モードについて	23
○ どうすれば?	24

# GV<sub>2</sub> スーパーSFX

本書はスーパーSFXを初めて使用される方のために書かれています。

なお、群番号の設定や、メモリーのさせ方、一部のディスプレイの意味などは、ノーマルの取り扱い説明書と同一ですので、そちらもあわせて御覧下さい。

本機にはノーマルモードはありません。ただし、他人に使用されないようにするため、死んだふり機能があります。死んだふり機能の状態では、表示、キー受付音などは、まったく作動しません。PTTや、モニターがききませんので、無線機としては使用できなくなります。同時に、安心ロックがかかります。

安心ロックとはGⅢSFXと同様に、暗証番号を知っている人だけがスペシャルを使用できるようにする機能です。暗証番号がわかりませんと、スペシャル状態にできませんので忘れないようにしてください。

## ★最初にスペシャルモードにするのは。

電源を入れて群番号が表示されれば、無線機として使用できる状態にすでになっています。

群番号が表示されず真っ暗の場合は、かまわず暗証番号を打ち込んでください。

この時、表示、動作音とも反応がありませんので、間違えず、ゆっくりキーを押してください。

最初に **C** のキーを押す必要はありません。暗証番号の数字キーを直接押して行って下さい。

5桁入力し終わりますと **5SE** の表示が出ますので、以降は無線機として、動作できます。

途中で打ち間違えた場合、最初の桁から打ち直してください。

この時、ATIS ROMカートリッジが挿入されていれば、自局の免許番号はその免許番号になります。

## ★安心ロックをセットする時は。

スペシャル状態を他人に知られたくない場合、セットしますと、無線機としての機能を停止します。暗証番号がわからないと、無線機として動作しなくなります。

本体パネルのキーを同時に4つ以上押します

表示が真っ暗になり、以降は動作しなくなる押すキーはどれでも構いません。

なお、HOLD + REMOTEは、別の機能に割り当てられています。間違えないで下さい。

## ★最初から、使用できるスペシャル機能。

1. モニターに移る際、CH表示をします。例、**1 32** ダウンモードの 35CH

2. モニターから、PTTを押すことにより、割り込み送信できます。

3. 5分、1分の通話制限はタイマーカットの動作にかかわらずありません。

ただし、相手の局が通話制限状態になったとき、相手局だけリセットしてしまわないように、表示パネルの **1-MIN**

**LOCAL** のランプに注意してください。

4. リセット、モニター、レディ、送信中のどの状態からでも、メモリー、群番号の打ち替えができます。

5. マイクのキーで、CHのアップ、ダウン、モニターサーチ、モードの変更、メモリーの切り替え、連続リコール、パワー表示、温度表示などの多彩な機能が実現できます。熟練すれば、本体にはほとんど触らなくてはなりません。

## ★特殊文字入力機能 (0から9の数字以外の特殊文字番号が入力できます。“C”に続く次のキーです)

**CALL** = **B**    **HOLD** = **B**    **M** = **E**

マイクの **REM** = **D**    マイクの **SFT** = **E**    マイクの **END** = **F**

例 GBの真っ黒群番号 **C** + **CALL** キーを5回 => **AAAAA**

1. リセット状態の時、マイクのリモートキーにより、すべてのメモリー、及び特殊群コードの呼び出しができます。

呼び出される順序は、メモリー 0 => 1 => 2 => … 9 => -A -cod => -b -cod => -L -cod => -H -cod => -P -cod => -E -cod => 00000 (ゼロファイブ) の順です。

00000 (ゼロファイブ)は、メモリーされていないなくても、リセット中は呼び出しを行うことができます。

8. 呼び出し、着信の時、群番号とCHを交互に表示します。

## 9. チャンネルの確認 (モニター、レディ、送信中にCHの確認ができます。**CALL** キーを押すと表示されます。)

## 10. メモリー群番号自動呼び出し機能 (リセット状態の時、CALLに続いてキーを押すことにより、自動呼び出しができます。)

**CALL** + **0** から **9E** までのキー ⇒ そのメモリーされている群番号で呼び出し **CALL** + **IM** から **0** までのキー ⇒ そのメモリーされている群番号で呼び出します。

**CALL** + **C** ⇒ **c00000** CQ (ZER05)

**CALL** + **CALL** ⇒ **cA-cod** Aコード (F6006)

**CALL** + **HOLD** ⇒ **cB-cod** Bコード (F0009)

**CALL** + **M** ⇒ **cL-cod** 近接車通信用 (F0005)

**CALL** + **REMOTE** ⇒ **cH-cod** 高速道路通信用 (F0003)

**CALL** + **SHIFT** ⇒ **cP-cod** 交通情報用群番号 (F0000)

**CALL** + **マイクEND** ⇒ **cE-cod** 緊急通信用 (FF000)

## 11. メモリー、待ち受けセット機能 (すべてのメモリー、特種群番号、免許番号の待ち受けセット、解除が独立して行えます。)

Mキーに続いて、CALLキーを押しますと、待ち受けのセット、解除のモードになります。

**M** + **CALL** ⇒ **456789** 例として、左記のように表示されれば、4から7までのメモリー群番号が待ち受けセットとなっています。

この状態から1から9までの数字キーを押すと、待ち受け設定の数字ランプが点燈、消燈を交互に繰り返します。

基本的にはノーマルの設定と一緒ですので、ノーマルの説明書もあわせて参照してください。

また、常時待ち受けが確認できるように、同時にパネル左端の“<”マークと“×÷+”マークも点燈します。点燈した状態で、そのメモリーに記憶されている群番号の待ち受けがセットされます。

メモリー0の待ち受けの場合は、“-”マークのランプが点燈、消燈します。どのマークがどの待ち受けになっているか、動作させて確認しておくとう良いでしょう。

免許番号での待ち受けは、GVでは群番号の待ち受けと同時にできるようになりました。免許番号で待ち受けたい場合、その免許番号を自分の免許番号にセットし、待ち受け設定のとき“C”キーを押します。

**M** + **CALL** + **C** ⇒ “+”マークが点燈、消燈する。(免許番号 待ち受け)

また、特種群番号の待ち受けの場合は下記の要領で設定します。

**M** + **CALL** + **CALL** ⇒ “A”マークが点燈、消燈します。

**M** + **CALL** + **HOLD** ⇒ “b”マークが点燈、消燈します。

**M** + **CALL** + **M** ⇒ “L”マークが点燈、消燈します。

**M** + **CALL** + **マイクREMOTE** ⇒ “H”マークが点燈、消燈します。

**M** + **CALL** + **マイクSHIFT** ⇒ “P”マークが点燈、消燈します。

**M** + **CALL** + **マイクEND** ⇒ “E”マークが点燈、消燈します。

待ち受けのセットが終わったら、本体の**(END)**キーを押して設定モードを終わります。また、6秒間入力がなかった場合、自動的に設定モードを終わります。いずれの場合も点燈した状態で待ち受けセットとなります。

また、自分で最後に表示した群番号は、上記の操作に関係なく常に待ち受け状態となります。メモリー0からメモリー-9まで免許番号と特殊群番号6種類で、あわせて17局待ち受けです。

### 《ワンポイント》

GVSFXでは、全群待ちが二通りあります。ひとつは待ち受け設定している群番、免番を無視する待ち方です。後程のサイドウィンダー機能などとセットする特殊な待ち受けです。この場合は、待ち受けのセットが反対に呼ばれないセットの意味になります。

## 12. 群番号吸い取り機能 (群番号解読の時、表示された群番号を、自分のメモリーにコピーすることができます。)

コピーしたい群番号が表示されたら、以下の操作を行います。

**HOLD** + **HOLD** = ⇒ **COPY-** + **0** から **9** 又は **C** (0の場合) ⇒ **COPY0**

この例では、メモリー0に、コピーしていますが、以前に記憶されていたメモリーは、消されます。消してもいいメモリーナンバーを選んでください。

また、GV-SFXでは、一時的に使用したいが、メモリーには採っておかなくて良い場合、**C** のキーが使用できます。次にリセットした場合、この群番号は失われます。モニターからの割り込み通話などのとき便利です。

### ワンポイント

次のような場合使用します。

ある日、車で移動中、モニターサーチを掛けていたら、お馴染の「Aさん」の変調が聞こえました。

「いやあ！ルート○×△はガッチャマンで大QRだア〜！」

(エッ！○×△じゃ、いま走っているルートだ！) ふと無線機を見ると、いつもの群番じゃない。

(ありゃ、詳しくQRレポート欲しいけど、群番違いじゃシツレイだし……)

(なんだ？見たことない群番だなア。えっと……消してもいいメモリーはっと……)

はい、こんな時には群番吸い取りで、「C」を使いましょう。

**HOLD** + **HOLD** + **C** = ⇒ Aさんと同じ群番 そして、PTTを握って

(Aさん、おひさかた〜。ガッチャマン、どこで?)

「おや、Bさん。えっとQRの先頭は▲□●だよ！滑りセーン！」

(なーんだ、反対方向かア、レポートあんがとー、移動お気をつけて！)

「はいはい、FBにおさかぎ〜」…… おかせぎ

**END** = ⇒ 元の群番号 (この時、Aさんの群番は跡形もなく消えます。)

## 13. チャンネル指定機能 (チャンネルの指定が、キー入力により行えます)

例 50CHにセットする。 **C** + **5b** + **0** + **MON** = ⇒ **0 50**

例 123CHにセットする。 **C** + **1M** + **2** + **3M** + **MON** = ⇒ **0 123**

CHが2桁の場合、キー入力も2桁で行えます。

## 14. チャンネルメモリー機能 (チャンネルの、メモリー、呼び出しができます。GV-SFXは、10個のチャンネルメモリーを持って) います。

○メモリーする。

まず、記憶させたいCHに、セットします。

例 100CHにセットする。 **C** + **1M** + **0** + **0** + **MON** = ⇒ **0 100**

100C でモニター状態となります。その後、例としてCHメモリー1に記憶します。

**M** + **HOLD** = ⇒ **0CHSET** + **1M** = ⇒ **0SET-1** 100CHがCHメモリー1にセットされました。

また、通話状態(レディ)のとき、そのCHをメモリーしておきたい場合には、上記操作のほかに、以下に示す方法でも行えます。(50CHで通話していたとします。)

**MON** = ⇒ **CHSET** + **2M** = ⇒ **SET-2** 通話していた50CHがCHメモリー2にセットされました。

○メモリーしているCHに移る。(メモリーを呼び出す)

先程、CHメモリー1に入れた、100CHを呼び出してみます。

**M** + **MON** = ⇒ **0SET--** + **1M** = ⇒ **0 100** 100CHでモニター状態となる。

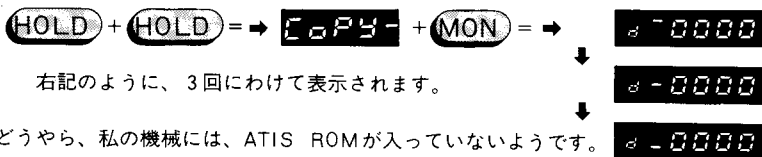
また、CH設定と似た方法でも行えます。CHメモリー2を呼び出してみます。

**C** + **2M** + **MON** = ⇒ **0 50** 50CHでモニター状態となる。

ここで注意する点は、CH指定のときは、2、または3桁入力でしたが、1桁入力の場合は、CHメモリーの指定と解釈します。メモリーセット、呼び出しとも、0から9までの10CHのCHメモリーが使用できます。

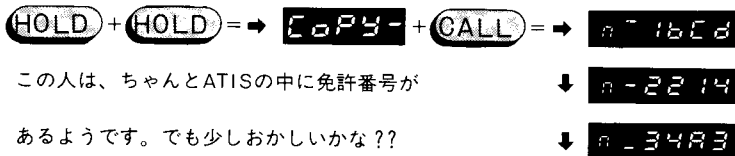
リセット、モニター、レディ、送信中のいずれの場合からでもCHの移動が瞬時に行えます。また、設定した時のモードも同時に記憶しています。CHメモリー呼び出し時にも、そのモードに自動的に移ります。

15. 自局免許番号機能 (現在使用している自局の免許番号を表示させます。)



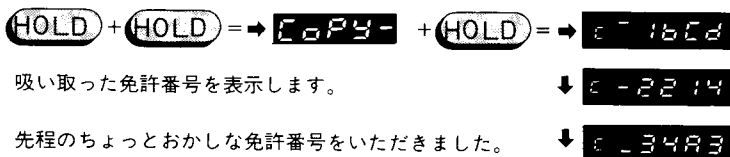
16. 相手局免許番号表示機能

受信した、ATIS信号の中の免許番号を表示させます。



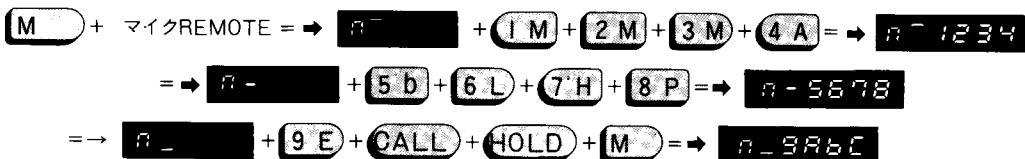
17. 相手局免許番号吸い取り機能

受信した、ATIS信号の中の免許番号を自局のものにしてしまいます。



18. 免許番号作成機能

自局の免許番号をつくりだしてしまいます。



これで、免許番号は、123456789ABCとなりました。

キー入力の際のアルファベット入力は、群番号の場合と同じです。

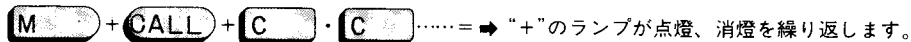
お互いに、GVSFX同士ですと、電話番号なども1回のATIS信号で送れます。各自、活用方法を考えてみてください。

なお、くれぐれも悪用しないでください。!!

ワンポイント

応用編 その1 免許番号で待ち受ける

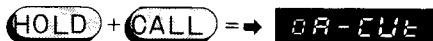
機能11の所にもありますが、免許番号の待ち受けは、表示パネルの“+”(足し算)のランプが待ち受けセットを表わしています。



点燈状態で待ち受けです。なお、免許番号だけで待ち受けしたい場合、他の待ち受けは解除しておかなければなりません。

応用編 その2 免許番号で妨害する。

その1と同じ設定をして、サイドワインダーをかけます。



動作としては、同じ免許番号で呼ばれ、その時の群番と暗証ナンバーを記憶し、呼び出したCHへ移ってから、切断側号を1回だけ送信します。信  
 せつかくりコール、または呼び出して、そのCHが上がったとたん、切断信号を受信することになり、すぐさまリセットするわけです。

(もちろん、新モード機でノーマルの無線機に限ります。)



## ★HOLDキー

信和製の無線機は初代905 G より、このHOLDキーが重要な機能として今に受け継がれています。  
(本当にスペシャル改造を阻止したいなら、キーの名前は変わっていたでしょう。)

### ●HOLDの操作方法 その1 - HOLD + 5 ~ 8 及びその他

**HOLD** を押しすると **0 55789** の様な表示が表われます。これは群番ではありません。  
↑この時、表示の左端の桁は数字の表示となっています。現在のモードです。  
この点について注目しておいてください。  
この状態から、HOLD 1 回目でセット、解除できる機能の操作が行えます。

### ●HOLDの操作方法 その2 - HOLD + 1 ~ 4 について

上記に続いて、1 ~ 4 のキーを押しますと、今までモードが表示されていた部分が、H に変わります。  
本機は、機能が aumentata ため、HOLD 1 ~ 4 は二段設定になっています。  
HOLD 1 ~ 4 まで、それぞれに 1 ~ 4 のセットを設定しています。

**HOLD** + **1 M** → **H 1** ←モードの表示だった左の桁に、H の文字が表示されます。この時、二回目のキーを受け付けます。また、“END”キーで中止できます。

**HOLD** + **2 M** → **H 2**

**HOLD** + **3 M** → **H 3** } 上記と同様に、1つのキーの中に、4つの機能がセットされるようになります。

**HOLD** + **4 A** → **H SUB** このモードは、無線機能とは離れた設定をします。  
(ゲーム、目覚ましなど)

### ●HOLD二段操作の例 (素早く続けて操作します。)

**HOLD** → **0** =HOLD + 5 ~ 9 はセットなし

**1 M** → **H 1** =HOLD + 1 のなかはセットなし

**1 M** → **H 1 1** =HOLD + 1 + 1 がセットされた

**3 M** → **H 1 1 3** =HOLD + 1 + 3 がセットされた

**1 M** → **H 1 3** =HOLD + 1 + 1 が解除された

**END** → **0 群番号表示** =HOLD の作業から抜けた

上記のような操作手順により、HOLD 2 段セットを行いません。

### ●スペシャル機能をすべてOFFとする

SFX を早く使いこなしていただくためには、一つ一つの機能を十分理解していただくことと思います。  
そこで、すべての機能をOFFとしてかや操作されるとよいでしょう。

**HOLD** → **0 25789** = 5 ~ 9 のどれかが表示されている場合、そのキーを押して表示を消します。

**END** → **0 群番号表示** = 5 ~ 9 のすべてが消えたところで“END”キーを押しますと、HOLD の操作から抜けれます。

上記と同様に、二段目HOLDの機能もOFFにしてから使用されるとよいでしょう。

**HOLD** + **1 M** → **H 1 1 2 3 4** =HOLD + 1 の中のどれかが表示されている場合、そのキーを押して表示を消します。

**END** → **0 群番号表示** =HOLD + 1 の中がすべて消えたところで、“END”キーで、HOLD の状態を抜けます。

**HOLD** + **2 M** → **H 2 1 2 3 4** =HOLD + 2 の場合も同様に行います。

以上の操作を、HOLD + 3 についても行いますと、とりあえず設定解除のできるスペシャル機能については、すべてOFFとなります。

## 19. ATIS信号カット機能

PTTを握った時、離れた時、1分に1回送信されるATIS信号を止めてしまう機能です。

**(HOLD) + (5 b) → 0 5** セット **(HOLD) + (5 b) → 0** 解除

セットされていても、リコールの時は送信されますので呼び出しはできます。

## 20. 群番号の解読機能

受信したATIS信号の中の群番号を表示させます。

**(HOLD) + (6 L) → 0 5** セット **(HOLD) + (6 L) → 0** 解除

なお、ノーマル機のATIS信号を受けた時、相手が通話制限などで残り時間のデータを送信している場合、その残り時間を表示します。ただし同一の群番号の時のみです。表示のでかたなどは、ノーマルの取り扱い説明書を参照して下さい。

## 21. プライオリティ機能

CHメモリー0にセットしたCHに誰かが出てきた時に、“C-MEM”のランプを点滅させると同時に、“ピー”と動作音を出して使用中であることを知らせます。

約1分に1回、瞬間的にそのCHを受信して判断しています。リセット、通話受信中、モニター中に動作します。(送信、サーチ中は行いません。)

**(HOLD) + (7 H) → 0 7** セット **(HOLD) + (7 H) → 0** 解除

### 《ワンポイント》

#### もっと便利に使う方法

1. 予めCHメモリー0には、自分のワッチしたいCHをメモしておきます。プライオリティは解除のままにします。ワッチCHを例として80CHにしましょう。
2. 50CHの良く知っているローカルさんに呼ばれました。面白そうなので、ブレイクインしました。この時、初めてプライオリティをセットします。
3. しばらくダべっていると、“C-MEM”のランプが点滅しました。誰か80CHに出てきています。
4. 「誰か呼んでるから、ショートX/」としゃべって、おもむろに本体の“END”キーを2回押します。
5. と? あ〜ら不思議、80CHでモニター状態になりました。でも全然知らない人みたいです。
6. 「チェ/しらね〜やつか」と、また、おもむろに“END”キーを2回押します。
7. おやおや? ちゃんと元の50CHに戻ってきました。  
という具合に活用します。どこかのCHに移ってからセットするところがミソです。

注意点 “END”キーでモニター移動するため、HOLD+8と一緒にセットできません。

“C-MEM”のランプ点滅機能だけを見る場合は可能です。(HOLD+8を優先する場合があります。)

## 22. 解読群番一発モニター機能

リセット中に解読された群番のCHに、即モニターできる機能です。解読表示中に本体の“END”キーを押してください。解読された群番号が呼び出したCHをモニターできます。

**(HOLD) + (8 P) → 0 8** セット **(HOLD) + (8 P) → 0** 解除

### 《ワンポイント》

#### 実際の操作法

1. HOLD+6をセットします。(群番が見えなければ話になりません。当然群番解読セットです。)
2. HOLD+8をセッしたら、リセット待機します。
3. 混雑している地域では、めまぐるしい程、群番が変わってゆくでしょう。
4. キャッチしたい群番が「出たッ!」その瞬間に、本体の“END”キーを押します。
5. 捕まえた群番号がリコールか呼び出しをしたCHに、モニター状態で飛び込んでいるはずですよ。
6. “PTT”を押せば、キャッチしたその群番号で通話が開始できます。

注意点 プライオリティ (HOLD+7) とは、なるべく同時にセットしないでください。

## 23. 制御信号妨害機能

制御CHのATIS信号に妨害を与える機能です。信号に合わせて混信を与えますのでリコールが打てなくなりはありません。リセットの状態だけ動作します。

**(HOLD) + (9 E) → 0 9** セット **(HOLD) + (9 E) → 0** 解除

## 《ワンポイント》

### 注意点

1. 連続リコールなどの場合は、タイミング的に合わせきれず、捕まえそこねが発生します。
2. 都心部では、非常に多くの制御信号が飛び交っています。ですから、全体の送信に占める時間も長くなりますので、発見される可能性も大きくなります。また送信している訳ですから、いずれにせよ終段モジュールの劣化も激しくなります。いずれにせよ、長時間の妨害はやめましょう。

## 24. スキャンスピード切替機能

モニターサーチのスピードを変えます。セットで約80CH/8秒、解除で約80CH/3秒です。

**(HOLD)** + **(1M)** + **(1M)** → **H 1 1** 解除の側が高速です!!御注意下さい。

## 25. 連続モード切替機能

モニターサーチの時、1回りしてCHの最初になると、モードを一つ進めます。これにより、すべてのモードがつながったようになり、サーチを行います。

メモリスキャンの場合には、すべてのモードに対してメモリーCHスキャンをするようになります。

**(HOLD)** + **(1M)** + **(2M)** → **H 1 2**

## 26. メモリスキャン機能

CHの順番のスキャンではなく、CHメモリーのスキャンを行います。GVSFXには10個のCHメモリーがありますが、CHメモリーについては、14項を参照ください。

連続モードがセットされている場合、各モードごとの各CHをサーチしてゆきます。解除の場合は、各CHメモリーが記憶しているモードに順次切り変わります。

**(HOLD)** + **(1M)** + **(3M)** → **H 1 3**

## 27. 空きCHサーチ機能

スキャンを空いているCHで止めるようにします。あくまで機械の空きCHレベルにより判断しますので、遠くで使用している場合、また、ブレイクタイムの時などで使用中のCHで止まることもあります。

**(HOLD)** + **(1M)** + **(4A)** → **H 1 4**

## 28. 全モード待受機能

すべてのモードの制御CHをリセット中にスキャンしながら待ち受けします。一度に8つのCHを聞いている訳ではないので、着信率は悪化します。モードが切り変わる状態を先頭のケタに表示します。

全モード待ち受けをしている局を呼び出す時には連続リコールを使用してください。

**(HOLD)** + **(1M)** + **(2M)** → **H 2 1** → **群番号表示** ・ **群番号表示**

## 29. スペシャルサーチ機能

モニターサーチをする際に受信した局と、自分の待ち受けを比較しながら行います。

信号の入感するCHでは30秒間ATIS信号を待ちますが、信号が受信できなければ次のCHにサーチを続けます。信号が受信できたなら群番号を確認し、待ち受けと違えば次のCHへ移ります。

次項の自動リザーブと組み合わせると留守番サーチもできます。

**(HOLD)** + **(2M)** + **(2M)** → **H 2 2**

## 30. 自動リザーブ機能

本機には、群番メモリー、CHメモリーの他に、リザーブメモリーを持っています。

リザーブメモリーとは、群番、CHのメモリーとは独立して群番とCHをペアでメモリーしておけます。ここでは、自動的にこのメモリーに機械の判断でデータを記憶させてしまう機能です。

以下の（一致群・全群）機能と合わせて使用します。

**(HOLD)** + **(2M)** + **(3M)** → **H 2 3**

なお、次に示す全群、一致群番号のリザーブ機能はこの機能がセットされて始めて使用できます。

リザーブメモリーは、全部で8個ありますが、9個目を記憶させると1個目がきえてしまいます。

別項目に、リザーブメモリーについての詳細を記していますので、そちらを参照ください。

### 31. 全群番号リザーブ機能

上記の自動リザーブと組み合わせて使用します。セットすると、リセット中、スペシャルサーチ中に受信したすべての群番号とそのCHをリザーブに記憶してゆきます。

また、解除されている場合は、待ち受けセットされている群番号と一致した信号だけを記憶してゆきます。

**(HOLD)** + **(2 M)** + **(4 A)** → **H2 34**

HOLD 3 + 3、2 + 4をセットしてリセット待機しますと、群番解読で次々と変わってゆく群番号を、“7”のキーでリザーブを後戻りさせて、そのCHに移動することができます。

### 32. PTT自動リコール機能

PTTを離れた時に、自動的にリコールを送信する機能です。

次に示す、PTTリコールタイマー制限と関係がありますので、以下の項目と組み合わせて使用してください。

**(HOLD)** + **(3 M)** + **(1 M)** → **H3 1**

このセットだけの場合ですと、PTTを握って1分以上たたない場合にはリコールをしません。

以下の設定をしますと、このタイマーに関係なく、つねにPTTを離れた時にリコールをします。

**(HOLD)** + **(3 M)** + **(2 M)** → **H3 12**

### 33. タイマーリコール機能

通話中（レディ）、自動的に、1分、または3分間ごとにリコールを打つ機能です。

**(HOLD)** + **(3 M)** + **(3 M)** → **H3 3**

このセットだけの場合ですと、3分間ごとのリコールになります。以下の設定をしますと、1分間ごとのリコールになります。

**(HOLD)** + **(3 M)** + **(2 M)** → **H3 23** (要はいっぱい打ちたい場合“2”をセット)

### 34. 多群番一括リコール機能

待ち受け指定をしている群番号を、すべてリコールする機能です。待ち受け設定は、10項に記してありますのでそちらを参照ください。呼び出すCHは、リコールを打ったCHになります。

**(HOLD)** + **(3 M)** + **(4 A)** → **H3 4**

#### 《ワンポイント》

##### 流れる群番

1. メモリー0からメモリー9までに1桁づつずらした群番号をメモリーさせます。
2. 待ち受けを0から9まで全てセットします。
3. リコールを打ちますと、まるで群番号が流れていくように見えます。

◎その他の特殊機能 (ノーマルの取り扱い説明書にもありますので参照してください。)

### 35. 目覚し時計機能

ノーマルにもある目覚し時計の機能です。操作方法も同じです。

**(HOLD)** + **(4 A)** → **H 50h** + **(1 M)** = → **-**  
= → + **(C)** + **(0)** + **(8 P)** + **(0)** + **(0)** → **08-00**

上記の例では、8時間後に、ピーピーという音を発して、時間になったことを知らせます。無線機の機能に戻るには、マイクの“END”キーを押します。

### 36. ストップウォッチ機能

ノーマルにある機能と同一です。

**(HOLD)** + **(4 A)** → **H 50h** + **(2 M)** → **0000**

マイクの“PTT”でスタート、ストップ、“REMOTE”でラップ、クリアです。無線機の機能に戻るには、マイク、または本体の“END”キーを押します。

### 37. フィーバーゲーム機能

ノーマルにある機能と同一です。

**(HOLD)** + **(4 A)** → **H SUB** + **(3 M)** → **-999-**

マイクの“PTT”でスタート、ストップします。無線機の機能に戻るには、マイク、または本体の“END”キーを押します。

### 38. 拡声器(PA)機能

外部に拡声器用スピーカをつけた場合、拡声器機能が行えます。

**(HOLD)** + **(4 A)** → **H SUB** + **(4 A)** → **PA\_**

PTTを押してマイクに向かって話して下さい。無線機の機能に戻るには、マイク、または本体の“END”キーを押します。

## ●その他のHOLD機能

### 39. タイマーカット機能

元々、タイマーを動作させようがさせまいが、GVSFには通話の時間制限はありません。

この機能は、単にタイマーを止めるだけでなく、使用状況に応じて機能がさまざまに変化します。

**(HOLD)** + **(M)** → **o CUT** タイマーカットON (再度でOFF) **o t-on**

同時に、パネルの“T-LIM”ランプが点灯、消灯します。

#### A. 呼び出し、及び着信の時

タイマーカットがセットされている場合は、補足（呼び出しや着信で表示が点滅している時）の後、自動的にレディモードになります。

タイマー動作セットの場合には、30秒間補足状態のあとリセットします。またはこの間に“HOLD”、“REMOTE”、“PTT”などで、レディモードに固定することもできます。

#### B. 固定モニターの時（固定モニターとは、CH指定や、リセットより1回目のモニターキーでなる状態）

タイマーカットがセットされている場合には、リセットしない限りそのCHにいます。

タイマー動作セットの場合には、なにも受信しなくなってから15分間たつと、自動的にリセットします。

#### C. モニタースキャンの時

タイマーカットがセットされている場合には、入感のあったCHで固定モニターになります。

タイマー動作の場合は、入感のあったCHを15秒間傍受し、続けて次のCHにスキャンを続行します。

ただし、スペシャルサーチとは違い、ATIS信号を受信してもすぐにCHが変わることはありません。

（スペシャルサーチがセットされていれば、ATIS信号の判断を行います。）

この場合も、“HOLD”、“REMOTE”、“PTT”により、CHを固定することができます。

#### D. モニターから、群番一致の場合には、5分間の補足状態があります。

タイマーカットがセットされている場合には、レディモードに移ります。

タイマー動作の状態では、なおかつスペシャルサーチがONの時には、5分間の補足状態のあと、スキャン状態に戻ります。

タイマー動作の状態の時は、5分間の補足状態から固定モニターに移ります。なお、固定モニターでは、無信号状態のとき、15分間でリセットしますので、なにかの間違いにより呼び出された時でも、トータル20分間でリセットに戻ることになります。

#### E. リセットから、“PTT”や、“CALL”“+”なにかのキーで通話CHに移る時。

タイマーカットがセットされている場合には、特に変化はありません。

タイマー動作の状態では、1回目の発呼信号は送信しません。しかし、2回目にPTTを押す時にだけ、PTTによる自動リコールを行います。この機能により、たまたま開いたCHが使用中であっても、そのままリセットすれば、不要な呼び出しを減らすことができます。

### 40. 全群番号の待受機能

GVSFXには、全群番号の待ち受けが二通りあります。“HOLD”に続いて“MON”キーを数回押します。

**(HOLD)** + **(MON)**・**(MON)**……→ **o ALL** **o n-ALL** **o GUN**

#### A. 呼び出し、リコールを行っているすべての信号に対して受付をおこないます。

**o ALL** モニターや通話が終わってリセット状態になった時にも表示されます。

#### B. 待ち受けに入っている群番、免番以外のすべての信号に対して受付をおこないます。

**o n-ALL** (着信拒否) 同じく、リセット状態になった時、表示されます。

#### C. 通常の待ち受けです。

**o GUN** 解除の状態ですので、リセットになった時は、群番表示になります。

## 41. サイドワインダー（追っかけリセット）機能

呼び出し、リコールを行っている局のいるCHへ切断信号を送信します。

切断信号には、256通りの暗証コードが含まれています。そのため、このコードが分からないので強制リセットでは、数多くの信号を送信しなければなりません。

**(HOLD) + (CALL) → ER-CUE** セット      **(HOLD) + (CALL) → 0** 解除

このコードは、制御CHでしか送信されません。そこで、制御CHで受信した群番号と暗証コードで切断信号を送信すれば1回の送信でリセットさせることが可能になります。

この機能は、リセット中に受信して待ち受けと一致した群番号、免許番号の暗証コードを使用して切断信号を送信します。全群番号待ち受けならば、すべての局に対して送信します。

### 《ワンポイント》

こんなつかいかた

「ある特定の群番号にだけ妨害したい」この場合、ごく普通にその群番号をメモリーして、その群番号だけで待ち受けセットします。そして“追っかけリセット”

群番号のメモリーは10個あるので、10面まで妨害できるということです。

「につき“アイツ”だけに妨害したい!!」なんて? はいはい、可能です。

免許番号を吸いとって、免許番号だけで待ち受けをセットします。あとは“追っかけリセット”

「自分の仲間以外に妨害したい」? はい、できます。妨害したくない群番をメモリーし、それを待ち受けセットして、着信拒否（40項参照）をかけます。あとは“追っかけリセット”

**なお、くれぐれも パワーをかけて使用しないで下さい!**  
(うかうかしていると、すぐに捕まりますよ!)

## 42. セミーデュプレックス機能

送信と受信の周波数を別々に設定する機能です。これによりパーソナルで本格的なレピーターも可能でしょう。

**(HOLD) + MIC END → DUP** (再度でOFF)

チャンネルメモリー0のCHが受信周波数、メモリー9のCHが送信周波数になります。

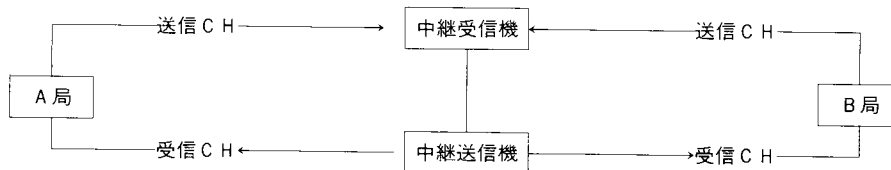
### 《ワンポイント》

こんなつかいかた

2局で交信する場合、お互い同士のCHメモリー9と0を入れ替えておけば、モニターされても片方の話しか聞かれなくなります。3局以上は不可能ですが……

レピーターシステムとは

レピーターとは中継方式の通話を行うものです。送信、受信の周波数が違えば、以下のことができます。



A局から送られた電波は、中継で周波数が替えられ、B局に届きます。B局からA局へも同じ動作になります。中継機は、送信と受信の周波数がずれているため、自分の電波は受信しませんので送受が同時におこなえます。中継機をロケの良い場所に設置すれば、非常に遠距離との交信も安定して行えるようになります。

なお、レピーターシステムの詳細については、購入された販売店等におたずね下さい。

## 43. 動作音の変更機能

キーの受付動作音の大きさを変えます。HOLDに続いて、0のキーを数回押すことにより、大、小、消しの状が交互に現われます。

**(HOLD) + 0 + 0 + …… → 0 H      0 L      0 0**  
動作音大                      動作音小                      動作音消

#### 44. 群番、CHロック機能

メモリー1に記憶させている群番号、モード、CHでロックをかけます。ただし、送信に移る場合に動作します。それ以外の操作では通常どうり行えます。

**HOLD** + **C** →  (鍵) のランプが点灯します。

通常の動作とは、モニター、リセットなどの無線機の状態から、メモリーの切り替え、群番号の打ち替え、CHメモリーに関すること、その他もろもろの動作も受け付けます。

ところが、送信状態になったとたん、すでに変わっているはずの以前の内容に群番、CHとも変更されます。これは、“HOLD”+“C”の操作を行った瞬間に、その内容を別の状態で内部に取り込んでいるからです。一端取り込まれたデータは、再度“HOLD”+“C”でロックを解除するか、死んだふり状態になるまで変更されません。

#### 45. デジタル秘話機能

秘話装置には、音声をその周波数を反転させて、内容が判別出来ないようにするものが良く使用されていましたが、最近になってデジタル方式の秘話が実用化されました。(警察無線など)

この方式は解読することが非常に困難で、その秘匿性が高いものです。また、無線では別の方法で、同様に秘匿性の高い方式があります。これは、1対1の通信を行う場合、非常に広い周波数帯域を使用しておこなうものです。

**A. 周波数拡散方式**……これは送信時の周波数帯域を非常に広くとり、個々の周波数に情報を分散させ相手に送るものです。しかし、無線機自体に専用の機構が必要なので非常に高価です。

**B. 周波数時分割移動方式**……すでにアメリカなどでは業務実用の段階にあるようですが、周波数を移動しながら必要な情報を相手に伝えます。しかし、送り、受け側ともに周波数が同期して移動できなければ内容の再生ができません。周波数がどのように移り変わっていくかが分からないと解読は非常に困難です。

◎パーソナル無線機は内部にマイクロコンピュータを持ち、ATIS信号で、無線機同士の情報交換ができます。

このことを利用して、B.の“周波数時分割”による秘話が可能になります。


実際の動作としては、CHメモリー0～9に記憶させてある周波数を一定時間で順次移動してゆきます。

まず、どの周波数を使用するかを決めます。→CHメモリー0から9まで使用するCHをメモリーします。相手側も同じ順にメモリーさせる必要があります。

**HOLD** + **REOMTE** →   ……

メモリーさせてあるCHの表示が順次かわってゆきます。

そして、1週ごとに同期をとるため、送信側からATIS信号を送信します。

 CHメモリー0の時、送信状態だと、ATIS信号を送信する。

また、受信状態になっている場合は、相手からのATIS信号を待ち合わせします。

ATIS信号を受信し、その群番号が自局のものと同じの時、内部のタイマーあわせをして、周波数を切り替えてゆきます。

ほぼ、2秒おきの周期でCHが切り変わってゆきます。

切り変わった周波数が使用中でも、妨害するのでも、されるのでも、2秒間だけです。

メモリー0に割り当てたCHは、同期のためのATIS信号が送信されますので、なるべく混信のないCHを選んで下さい。

もし、同期がはずれたら(相手の声が聞こえなくなったら)次の同期まで、送信を控えます。一回りで20秒ですから、最大でも20秒間で復帰できます。

通常の無線機機能に戻るには、本体かマイクの“END”キーを押します。

(戻った場合、無線機の表示状態がおかしい場合がありますが、メモリーなどは消えていません。)

#### 《ワンポイント》

なお、この機能はあくまで“デモサンプル”的なものです。そのため、周波数10波と少なくなっています。本格的な秘話機能を必要とされる方は、お買い上げの販売店等に御相談ください。

#### 46. レピーター遠隔制御機能 (次の2つの機能は、現在は封印されています。)

**HOLD** + **SHIFT** →

**HOLD** + **PTT** →

パーソナル無線は元々、MCA (マルチ・チャン・アクセス) システムを応用してできたバンドです。

MCAシステムとは、空きCHを自動で探しだし、そのCHへ共通のグループを連れてくる、という非常に高度で便利な機能です。

そこで、レピーターシステムにもこの機能を応用しようとするものです。

現在はまだ公開できませんが、本当に妨害されない、本当にグループしか使用できないための機能です。

## ◎ その他の特殊機能

### 47. 切断信号

セットしている群番号で切断信号を送信します。ここでいう切断信号とは、時局に暗証コードのない場合のことです。暗証コードが分からないため、すべてに該当するコードの信号を送信します。送信終了まで約2分間かかります。

**M** + **SHIFT** → **cut** → / (TX)のランプが点灯し、Sメーターが振れっぱなしになる。

また、通常の切断信号（通話状態から、自局と同じ暗証コードを持つ局だけをリセットさせる）を送信する場合には、本体側の、“END”キーを1秒間以上押します。この場合は、自局の持っている暗証コードのみで送出します。

### 48. 送信、受信レベル切り替え

5W ←→ 0.2W受信感度低減を切り替えます。

**M** + **MIC END** → 表示パネルの0.2W RXL が交互に点灯、消灯します。

ランプの点灯状態に応じて送信、受信も切り変わります。（ノーマルの説明書参照）  
また、通話モードに入れば、マイクの“SHIFT”キーを押すだけで切り替えられます。

## ◎ オプション機能

### 49. 送信出力表示機能（オプション）

送信時、出ているパワーを表示できます。

（送信状態で） **MIC END** → **oPo 50** （例 5Wの場合）

ただし、完全に正確ではありません。定期的に購入した販売店で校正をしてください。

また、1W以下、7W以上は異常とみなして **oPo EE** の表示がです。  
（0.2Wモードは計れません。）

### 50. 電源電圧表示機能（オプション）

送信時、無線機本体まで届いている電源の電圧を表示します。

（送信状態で） **本体 END** → **oEc 138** （例 13.8Vの場合）

無線機の内部で測定していますので、電源ケーブルなどの良否のめやすなどに便利です。

### 51. 本体の温度表示機能（オプション）

送信時、無線機のダイキャストフレームの温度を表示します。

（送信状態で） **SHIFT** → **o40 °C** （例 40度の場合）

長時間の送信により、無線機はかなりの発熱をします。ここで注意しなければならないことは、GVはG IIやG IIIに比べて、送信パワーモジュールが熱に弱いということです。

これは、旧タイプの製造中止などによるものですが、メーカーの測定方法などでは現われないトラブルになっています。（パーソナルの失...まメーカーは知らないわけです。）

大切な無線機を壊さないためにも、本体でのパワーアップ、発熱状態の監視などに注意しましょう。

なお、上記の3項目は機種によりオプションとなります。また、送信時はそのままの表示になってしまいますので、確認し終わったらすぐに同じキーを押して群番表示に戻して下さい。



## 52. マイクキーの機能 (マイクのキーの機能は、状況に応じて機能が異なります。)

	REMOTE	SHIFT	END
リセット	表示群番号の切り替え	通話ゾーンの切り替え	前回より1CHアップしてモニター (押しっぱなしでサーチ) ※1
補 足	そのCHに固定	そのCHに固定	リセット ※2 (押しっぱなしで切断信号送出)
モニター	-1CH ダウン (押しっぱなしでサーチ)	+1モード アップ	リセット
通 話	リコール (押しっぱなしで連続リコール)	送信出力、受信感度の切り替え	リセット (押しっぱなしで切断信号送出)
送 信	リコール (押しっぱなしで連続リコール)	温度表示	パワー表示
モニター サーチ	-1モード ダウン	+1モード アップ	サーチ ストップ

※1 リセットから、マイクの“END”キーを押しますと+1CHモニターになりますが、この時にキーを離さずに1秒以上押さえ続けていると、サーチに移ります。

※2 “END”キーで切断信号を送信した場合、“ピリリ・ピリリ”という動作音で知らせます。

## 53. 切断信号を受信した場合

本機はスペシャルですから、当然受信してもリセットにはなりません。しかし、通話している仲間が全てスペシャル機とは限りませんから、リセットしてしまう可能性があるわけです。

そこで、切断信号を受信した場合、次のような表示で知らせます。

**r-CODE** 同時に“ピッ”という動作音もします。10秒後に群番表示に戻ります。

この表示がでたなら、すぐにリコールを打って呼び戻してあげるとよいでしょう。

## 54. 特殊オプション群番号機能

新モードの機種には、新たにA, B, H, L, P, Eなどを頭文字にした特殊群番号がもうけられていますが、実際にはそのような文字のコードの信号が出ている訳ではなく、すべて数字の“0”からアルファベットの“F”までのコードで送られています。

FF000	→	E-CODE	このような構成になっています。規則性としては、先頭が“F”であること、E-CODEを除いて、中が“000”であることのようにですが、まだ空きがあります。
F0000	→	P-CODE	
F0003	→	H-CODE	
F0005	→	L-CODE	
F0006	→	A-CODE	
F0009	→	B-CODE	

そこで、GVSFXでは、勝手に空きのコードにコード名をつけてしまいました。

F0001	→	N-CODE .....
F0002	→	Y-CODE .....
F0004	→	r-CODE .....
F0007	→	T-CODE .....
F0008	→	G-CODE .....
F000A	→	U-CODE .....
F000B	→	-CODE .....
F000C	→	C-CODE .....
F000D	→	d-CODE .....
F000E	→	F-CODE .....
F000F	→	O-CODE .....

↑各自で好きなコード名をつけてください。↑

これらの群番号は、あらかじめメモリーにある訳ではなく、そのコードに該当する群番号を打ち込むと、上記のように表示されるものです。

入力例 **M** +  + **C** + **MIC END** +  +  +  + **末尾**

末尾に該当する部分に、0~Fの文字にあたるキーを押せば、上記に記してあるコードが表示されるはずですが。

特に、Y-CODEなど、どんな通信目的に使用されるかは、推して知るべし。大いに利用してください。

また、他の機種では当然表示されませんので、あまり意地をはらないように……

## ○数字キーについて

数字キーは、ノーマルの場合、待ち受けの設定、解除をダイレクトに入力するために使用されましたが、SFXでは完全16面待ち受けのため、キーが足りずに別方法となっています。

数字キーについては、GⅢSFXに準じています。

**1 M** から **6 L** のキーには、CH及びモードを動かす機能があります。

**7 H** から **0** のキーには、リザーブに関する機能があります。

キーパネルの各機能		
現在のCHより -1CHダウン <b>1 M</b> 押しっぱなしでサーチ	現在のモードより +1モードアップ <b>2 M</b>	現在のCHより +1CHアップ <b>3 M</b> 押しっぱなしでサーチ
現在のCHより ハーフCHダウン <b>4 A</b> 押しっぱなしでサーチ	現在のモードより -1モードダウン <b>5 b</b>	現在のCHより ハーフCHアップ <b>6 L</b> 押しっぱなしでサーチ
リザーブを ひとつ戻す <b>7 H</b>	リザーブを 呼び出す <b>8 P</b>	リザーブを ひとつ送る <b>9 E</b>
リザーブに 記憶させる <b>0</b>	<b>C</b>	<b>M</b>

GVSFXでは、アップサーチ、ダウンサーチの他に、ハーフでのサーチも可能になっています。

本体の **4 A** または **6 L** のキーを1秒以上押しっぱなしにしてみてください。

また、マイクのキーや、本体の **1 M**、**3 M** など、同様に1CHずつのサーチもできます。

そのほかの機能的な面は、殆どGⅢSFXと同等です。

### 《ワンポイント》

#### こんなつかいかた

CHがハーフずつ移動できることを利用して、他の無線機が周波数がずれていた場合、基準となる周波数より、高いのか、低いのか簡単なチェックができます。

ただし、SFXの周波数をきちんと合わせておく必要があります。

購入された販売店で定期的に点検されるとよいでしょう。

## ◎CHについて

キー操作によるCH設定の場合は、00CH～159CHまで可能です。

後ろに添付してあります「チャンネル一覧表」を見ていただければ分かりますが、本機には今まで新モードの無線機では出られなかったCHに送信、受信が可能となりました。

00CH → 01CH (制御CH) と 02CHの仲間です。

これは、制御CHでの制御信号の安全性 (混信など) を保つため、25KHzのスペースがあります。

159CH → 80CHのハーフ上です。

上記と同じく、ダウンモードの80CHと、ノーマルの制御CHの間は、25KHzのスペースがあります。

(モニタースキャンの場合は、制御CHの01CHは受信しません)

ただし、制御CH (01CH) の送信はできません。また、モード5, 6, 7は、極度に周波数が離れているため、無線機本体の性能により、送信できない場合があります。また、送信していても、安定した電波であるかは不明です。

このため、この周波数帯での送信は極力行わないでください。終段パワーモジュールの故障の原因ともなります。

## ◎モードの切替機能

モードの切り替えは、**2 M**または、**5 b**のキーを使用して瞬時に切り替えられます。  
操作は、リセット中、モニター、レディ、送信中、いずれからでも可能です。

## ◎CHの切替機能

CHの切り替えもモードと同様、**1 M**、**3 M**、**4 A**、**6 L**のキーで瞬時に切り替えられます。

### 《ワンポイント》

#### 最近の900MHz帯の様子

パーソナル無線も、もう7年の歴史がありますが、最近になって特にOFFバンドに対する取り締まりが強化されてきているようです。驚くことは、このGVSFXのバンドの状態で、6、7モードあたりで自動車電話が入感してくることで。自自動車電話は、もっと下の周波数から割り当てがあるはずですので、このあたりの周波数まで使用していると、相当の加入者数になっているものと思われます。  
うらをかえせば、それだけお金をかけて電波を使用している局が多くなってきているということです。このため、多大の費用をつかって運用している局が多くなるため、特にパーソナル無線のOFFバンドに対する取り締まりが厳しくなっています。なにしろパーソナルは、彼等にとってはただの遊びですから。各自十分自覚をもって、このGVSFXを運用してください。取り締まりなどには、十分注意しましょう。

モード0	ノーマルモード	903 ~ 905MHz	ノーマル
1	ダウンモード	901 ~ 903MHz	— 現在割り当てなし
2	Wダウンモード	899 ~ 901MHz	
3	トリプルダウンモード	897 ~ 899MHz	
4	フォースプライベートモード	895 ~ 897MHz	
5	ファイブプライベートモード	893 ~ 895MHz	
6	シックスプライベートモード	891 ~ 893MHz	— 自動車電話がぼちぼち使用中
7	どん底モード	889 ~ 891MHz	

### 《ワンポイント》

#### 無線機の基本的性能について

7年間の間に、各社から色々な機種が発売されましたが、最近の無線機の傾向としては、「以前に比べて、耐久性、余裕度が無くなった」ことが目に付き始めました。  
メーカーも「この程度ならまあ使える」というノウハウが蓄積されて、定価設定も下げたいために個々のパーツなども、性能に影響のない部分から徐々に定価なものに切り替えられてきています。  
(ここでいう“安価”とは、メーカーにとって“安価”であって、大量発注すれば非常に値が下がるパーツの変更が多いようです。逆にいうと“オーダーメイド”ですから、一般的には入手が困難になる場合があります。VCOユニット、パワーモジュールなど保守の面からすると、後々高つく場合が多い様です。)  
おかげで、送信できるバンドは狭くなり、耐熱性の低いパワーモジュールになってしまいました。このことを十分理解して運用して下さい。(そのために、“温度計”、“パワー計”を内蔵しました。)  
4モードからパワーが出なかったり、すぐにモジュールが壊れるのは私のせいじゃありません。メーカーが悪いんです。

## ◎リザーブメモリー機能

○ リザーブメモリーとは、一種の裏メモリーです。SF Xでは、1280にも増えたすべてのCHを、十分有効に使用するのには、困難なほどになりました。そこで、リザーブメモリーを活用して、ある程度のCH、群番の管理を機械に任せたいというものです。

- A. 普通のメモリー（“REMOTE”キーで切り替える）とは、全く別のものです。
- B. このメモリーに入っている群番では、待ち受けは出来ません。
- C. 群番、CH、モードがワンセットになっています。群番だけ、CHだけなどの変更はできません。
- D. ワンタッチで、記憶させられます。
- E. ワンタッチで、記憶させた状態に飛び移ります。（周波数、群番がいったん切り変わる。）
- F. リザーブできる数は、8個までです。9個目を入れますと最初の1個が消されてしまいます。  
あらかじめセットしておき、CHからCHへ、瞬時のQSY（CH移動）に、また多数のグループとの掛け持ちQS0も、らくらく、OKです。

○ リザーブメモリーの使い方としては、以下の4通りがあります。

- A. リセット待機中、呼ばれた群番、CH、モードを記憶して、リセット状態を続ける。
- B. リセット待機中、群番解読で、次々表示される群番をためておき、希望の群番号のところまで後戻りさせる。
- C. モニターサーチを行い、待ち受けと同じ群番を見つけたら、その群番、CH、モードを記憶してスペシャルサーチを続ける。
- D. 自分であらかじめリザーブメモリーに記憶しておき、そのCH間を自由に行き来する。  
以下に、それぞれの機能の組み合わせ方法を例として記します。  
なお、スペシャル機能は、すべてOFFの状態からセットするものとします。  
また、群番号のメモリー及び、待ち受けの設定はされているものとします。

### ○1. リセット中の留守番機能

まず、タイマーは動作させます。 **CALL** + **M** → **0 6-07** (CUTの表示の場合は再度行う。)

自動リザーブ機能をONにします。 **HOLD** + **2 M** + **3 M** → **4 2 3**

以上をセットしてリセット待機すれば、自動的に呼び出しを受け30秒後に、その群番、CH、モードを記憶し、リセット状態に戻ります。

**7 H** のキーを押すことにより、たまっていた群番号が表示されます。

希望する群番号の表示された時に、**8 P** のキーを押しますと、そのCHに移ります。

### ○2. リセット中の群番戻し機能

自動リザーブ機能をONにします。 **HOLD** + **2 M** + **3 M** → **4 2 3**

全群番号リザーブ機能をONにします。 **HOLD** + **2 M** + **4 A** → **4 2 3 4**

群番号解読機能をONにします。 **HOLD** + **6 L** → **0 6**

以上をセットしてリセット待機すれば、次々表示されてくる群番号を後戻りさせて、そのCHに行くことができます。ただし、9個以上前の信号は戻せません。

**7 H** のキーを押すことにより、たまっていた群番号が表示されます。

希望する群番号の表示された時に、**8 P** のキーを押しますと、そのCHに移ります。

### ○3. スペシャルサーチリザーブ機能

スペシャルサーチ機能をONにします。 **HOLD** + **2 M** + **2 M** → **8 2 2**

自動リザーブ機能をONにします。 **HOLD** + **2 M** + **3 M** → **8 2 23**

群番号解読機能をONにします。 **HOLD** + **6 L** + → **0 6**

以上をセットして、モニターサーチをかければ、待ち受け群番と同じ群番のCH、モードを記憶して行きます。なお、リセットをかけるまで行いますので、出かけている間に、仲間のいるCHを調べておけます。ただし、9個以上前の信号は戻せません。

**7 H** のキーを押すことにより、たまっていた群番号が表示されます。

希望する群番号の表示された時に、**8 P** のキーを押しますと、そのCHに移ります。

### ◎ リザーブのしくみ

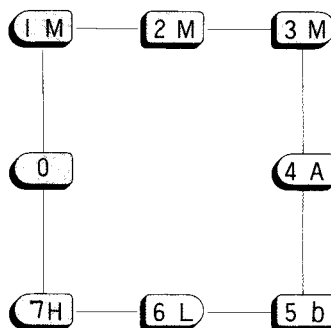
リザーブメモリーには、0～7までのナンバーがついています。

**7 H** のキーで、出入できるリザーブを一つ戻します。 ↑

**0** のキーで、使用中のCH、群番をリザーブします。 →

**8 P** のキーで、リザーブを呼び出します。 ←

**9 E** のキーで、出入できるリザーブを一つ進めます。 ↓



リザーブ関係の操作を行った場合、**r c = 0 = 0** と表示がされます。

これは、現在中央に表示されたナンバーのリザーブに入出力可能という意味です。そして、そのリザーブに記憶されている群番号の表示をします。

メモリーのナンバーを示す所が、“-”の文字になります。(例 12345) → **r 12345**

3秒後に、通常の群番号の表示に戻ります。(例 MO-00000) → **8 00000**

### ◎ リザーブを呼び出す

普通の状態で、**7 H** と **9 E** のキーを押すと、**r c = 0 = 0** のような表示が出て群番号が出ます。

ただし、上の中央の数字は、現在のリザーブのナンバーを表わしていますので、0～7までのどれかです。

**7 H** と **9 E** のキーで、呼び出したいリザーブNo.または、群番号が表示された時に、**8 P** のキーを押します。

すると、リザーブされていたCHに移ります。また、PTTを押すと、自動的にリザーブされていた群番号になっています。

通話が終わってリセットしますと、リザーブを呼び出す前の群番号にもどります。

リザーブを呼び出しても、0～9のメモリーは壊されることはありません。

## ◎ リザーブに記憶させる

ここでは、自分の希望する群番、CH、モードを指定したリザーブに記憶します。  
以下に一般的にありそうな状態の例を、操作の順序をおって示します。

1. まず、機械が勝手にリザーブ機能を動作させないように、自動リザーブを止めておきます。

**(HOLD)** + **(2 M)** + **(3 M)** ... → **R 2 124** 3が消えるようにする。

2. 自分のクラブなどのメイン群番、CHをリザーブ0にセット (例 1 CH 12345)

**(C)** + **(1 M)** + **(1 M)** + **(MON)** → **8 11**

**(M)** + **(1 M)** + **(C)** + **(1 M)** + **(2 M)** + **(3 M)** + **(4 A)** + **(5 b)** → **:12345**

**(9 E)** + **(9 E)** ... → **r c = 0 = 3** + **(0)** → **r c 0 = 3** → **r 12345**

3. モニターサーチから知り合いの人にお声掛けしたら、

「うちのフレンドが聞きたい事があるって言ってたから、10分後位にまた来て！」  
と、言われたので、ここもリザーブ。55CHの67890だった。

**(9 E)** → **r c = 1 = 3** + **(0)** → **r c = 1 = 3** → **r 67890**

4. もういっぺんサーチしたら聞きなれない“YL”さんの声！「今日引越してきて開局です！」  
うーん。じゃ、これもリザーブしといて、あとでブレイクしよ〜！（群番 87654）

**(HOLD)** + **(HOLD)** + **(C)** → **:87654** (自分の群番にします)

**(9 E)** → **r c = 2 = 3** + **(0)** → **r c = 2 = 3** → **r 87654**

5. 10分たったので、さきほどのとに戻る。

**(7 H)** → **r c = 1 = 3** → **(8 P)** → **67890** (PTTを握って「オーイ」……)

6. YLさん、まだやってるかな〜？

**(9 E)** → **r c = 2 = 3** → **(8 P)** → **87654** (ありゃ、もういない?)

7. しょうがね〜、いつものポイントでもワッチするか。

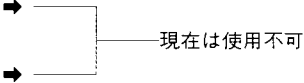

**(7 H)** → **(7 H)** → **r c = 0 = 3** + **(8 P)** → **12345**

この例では、リザーブ0、1、2と記憶させ、1、2、0の順に呼び出していますが、どのような順番でも構いません。  
使い込んでゆくほど便利になるでしょう。

◎ HOLDの機能一覧表


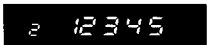








スーパーSF X基本操作表

<b>HOLD</b> + <b>1 M</b> + <b>1 M</b>	➔	ON→スキャンスピード低速	OFF→スピード高速
<b>HOLD</b> + <b>1 M</b> + <b>2 M</b>	➔	ON→全モードスキャン	OFF→単一モードスキャン
<b>HOLD</b> + <b>1 M</b> + <b>3 M</b>	➔	ON→メモリスキャン	OFF→順番CHスキャン
<b>HOLD</b> + <b>1 M</b> + <b>4 A</b>	➔	ON→空きCHスキャン	OFF→使用CHスキャン
<b>HOLD</b> + <b>2 M</b> + <b>1 M</b>	➔	ON→全モード待ち受け	OFF→単一モード待ち受け
<b>HOLD</b> + <b>2 M</b> + <b>2 M</b>	➔	ON→スペシャルサーチ	OFF→普通のサーチ
<b>HOLD</b> + <b>2 M</b> + <b>3 M</b>	➔	ON→リザーブ機能ON	OFF→リザーブOFF
<b>HOLD</b> + <b>2 M</b> + <b>4 A</b>	➔	ON→全群番号リザーブ	OFF→一致した群番だけリザーブ
<b>HOLD</b> + <b>3 M</b> + <b>1 M</b>	➔	ON→PTTリコール1分	OFF→PTTリコールなし
<b>HOLD</b> + <b>3 M</b> + <b>2 M</b>	➔	ON→PTTリコールいつも	OFF→1分以上握ってれば
		ON→1分に1回	OFF→3分に1回
		ON→タイマーリコール	OFF→普通のリコール
<b>HOLD</b> + <b>3 M</b> + <b>3 M</b>	➔	ON→タイマーリコール	OFF→普通のリコール
<b>HOLD</b> + <b>3 M</b> + <b>4 A</b>	➔	ON→多群番リコール	OFF→普通のリコール
<b>HOLD</b> + <b>4 A</b> + <b>1 M</b>	➔	目覚し時計機能	
<b>HOLD</b> + <b>4 A</b> + <b>2 M</b>	➔	ストップウォッチ	
<b>HOLD</b> + <b>4 A</b> + <b>3 M</b>	➔	フィーバーゲーム	
<b>HOLD</b> + <b>4 A</b> + <b>4 A</b>	➔	拡声器	
<b>HOLD</b> + <b>5 b</b>	➔	ON→ATIS信号カット	OFF→ATIS信号出る
<b>HOLD</b> + <b>6 L</b>	➔	ON→群番解読	OFF→群番解読しない
<b>HOLD</b> + <b>7 H</b>	➔	ON→プライオリティあり	OFF→プライオリティなし
<b>HOLD</b> + <b>8 P</b>	➔	ON→解読一発モニターあり	OFF→解読一発モニターなし
<b>HOLD</b> + <b>9 E</b>	➔	ON→制御信号妨害	OFF→妨害しない
<b>HOLD</b> + <b>C</b>	➔	ON→CHロック	OFF→ロック解除

<b>HOLD</b> + <b>M</b>	→ ON→タイマーカット	OFF→タイマー動作
<b>HOLD</b> + <b>HOLD</b> + <b>0</b> から <b>9 E</b>	→ 群番号コピー	
<b>HOLD</b> + <b>HOLD</b> + <b>HOLD</b>	→ 免許番号吸い取り	
<b>HOLD</b> + <b>HOLD</b> + <b>MON</b>	→ 自局の免許番号表示	
<b>HOLD</b> + <b>HOLD</b> + <b>CALL</b>	→ 相手の免許番号表示	
<b>HOLD</b> + <b>MON</b>	→ 全群番号待ち受け → 着信拒否 → 待ち受け群番号だけ	
<b>HOLD</b> + <b>CALL</b>	→ ON→サイドワインダー	OFF→解除
<b>HOLD</b> + <b>REMOTE</b>	→ 	
<b>HOLD</b> + <b>SHIFT</b>	→ 	
<b>HOLD</b> + <b>MIC END</b>	→ ON→セミデュプレックス	OFF→シングルプレックス (ノーマル)
<b>HOLD</b> + <b>END</b>	→ HOLDから抜ける	

### ◎ 表示状態の説明機能

表示により現在どの状態になっているのかを判断する材料にして下さい。

	(MON) → CH表示状態 (左端の数字はモードをあらわす)	ページ 1
	→ メモリー 2 の群番号は "1 2 3 4 5" (メモリー操作やREMOTEキー)	1
	→ "HOLD + 6" と "HOLD + 8" がセットされている。	6
	→ "HOLD + 1" の 2 段設定中 ("H" の表示に着目)	7
	→ "HOLD + 4" の 2 段設定中	8
	→ 目覚し時計の時間入力 受付中 (誤動作と間違えないように注意!)	8
	→ 目覚し時計 動作中 (同時に "S-CH" のランプが点滅)	8
	→ ストップウォッチ	8
	→ フィーバーゲーム	8
	→ 拡声器機能動作中	8



<b>COPY-</b>	→ <b>HOLD</b> + <b>HOLD</b> の2段設定中	ページ 3
<b>CHSEt</b>	→ “CH”メモリー”受付中	3
<b>SEt--</b>	→ “CHメモリー”呼び出し中	3
<b>SEt-4</b>	→ “CHメモリー4”受け付け、または呼び出し	3
<b>d-AAAA</b>	→ 自局の免許番号 表示中	4
<b>n-</b>	→ 免許番号 入力中	4
<b>n-AAAA</b>	→ 相手の免許番号 表示中	4
<b>c-AAAA</b>	→ 相手の免許番号 吸い取り中	4
<b>o COt</b>	→ タイマーカット	9
<b>o t-ON</b>	→ タイマー動作	9
<b>o ALL</b>	→ 全群番号待ち受け（リセット状態でも表示）	9
<b>oN-ALL</b>	→ 待ち受け以外の全群番号待ち受け（着信拒否）（リセット状態でも表示）	9
<b>o GUN</b>	→ 通常待ち受け（リセット状態では表示しない。）	9
<b>oA-CUt</b>	→ サイドワインダー動作中（追っかけリセット）（リセット状態でも表示）	10
<b>dUP</b>	→ セミデュプレックス動作中（リセット状態でも表示）	10
<b>r-COt</b>	→ 切断信号を受信した（10秒間）	13
<b>COt</b>	→ 強制リセット動作中（送信し終わるまで表示）	12
<b>oPo 46</b>	→ パワー表示中（4.6W）	12
<b>oEC 125</b>	→ 電源電圧表示中（12.5V）	12
<b>o50 °C</b>	→ 本体温度表示中（50℃ かなり危険）	12
<b>rc=3=3</b>	→ リザーブ操作で“3”を選択中（すぐに次の群番表示に切り変わる）	17
<b>rs4321</b>	→ リザーブ操作でメモリーされている群番号を表示中（3秒間表示）	17

## ◎ 送信中の特殊キー

MIC END → 送信パワー表示

本体 END → 電源電圧表示

MIC SHIFT → 本体温度表示

## ◎ Mキーの機能一覧表

- M + 0 から 9 E → メモリーの指定及び呼び出し
- M + HOLD + 0 から 9 E → チャンネルメモリーの書き込み
- M + MON + 0 から 9 E → チャンネルメモリーの呼び出し
- M + CALL + 0 から 9 E → メモリー0からメモリー9の待ち受け設定、解除
- M + CALL + C → P-CODEの待ち受け設定、解除
- M + CALL + M → H-CODEの待ち受け設定、解除
- M + CALL + HOLD → L-CODEの待ち受け設定、解除
- M + CALL + CALL → A-CODEの待ち受け設定、解除
- M + CALL + MIC REMOTE → B-CODEの待ち受け設定、解除
- M + CALL + MIC END → E-CODEの待ち受け設定、解除
- M + MIC REMOTE + 12回のキー入力 → 免許番号の書き換え
- M + MIC SHIFT → 強制リセット
- M + MIC END → 送信、受信レベル切り替え

## ◎ MON キーのCH指定方法

- MON → リセットの場合は、前回使用のCHモニターの場合はスキャン
- C + 0 から 9 E + MON → メモリーCHの呼び出し
- C + 0 から 9 E のキー2回 + MON → キー入力のCHへモニター
- C + IM + 0 から 9 E のキー2回 + MON → キー入力のCHへモニター

## ◎ CALLキーの機能

リセット状態では、自動呼び出し、その他の状態ではCH表示

**\*新モードについて**

80/ 158
------------

新モード158CHは、以下のCH配列となっています。

1	* 00	2	81	3	82	4	83	5	84	6	85
7	86	8	87	9	88	10	89	11	90	12	91
13	92	14	93	15	94	16	95	17	96	18	97
19	98	20	99	21	100	22	101	23	102	24	103
25	104	26	105	27	106	28	107	29	108	30	109
31	110	32	111	33	112	34	113	35	114	36	115
37	116	38	117	39	118	40	119	41	120	42	121
43	122	44	123	45	124	46	125	47	126	48	127
49	128	50	129	51	130	52	131	53	132	54	133
55	134	56	135	57	136	58	137	59	138	60	139
61	140	62	141	63	142	64	143	65	144	66	145
67	146	68	147	69	148	70	149	71	150	72	151
73	152	74	153	75	144	76	155	77	156	78	157
79	158	80	* 159								

\* 00CH 159CHは、GVAFXになって使用できるようになりました。

(実は、00CHに関しては、後期PQ-13-SFXでも使用できます。)

01CH (制御CH) の送信はできません。

## ◎ どうすれば？

17局待ち受けをする方法	2ページ
群番を吸い取る方法	3
CHを固定する方法	3
その1 CH入力	3
その2 群番 CHロック	11
CHを記録する方法	3
自分を知る方法	4
相手を知る方法	4
他人に成りすます方法	4
その1 免許番号吸い取り	4
その2 免許番号打ち込み	4
ひとりだけを待ち受ける方法	4
モニタースキャンを遅くする方法	7
8つのモードを全部スキャンする方法	7
ハーフでスキャンする方法	14
あいているCHを探す方法	7
8つのモードを全部待ち受ける方法	7
リセット中を通り過ぎる群番に行く方法	7
その1 全群リザーブ	7
その2 解読一発モニター	6
個々の群番を探して貯金する方法	7
自動でリコールを打つ方法	8
その1 PTT	8
その2 タイマー	8
その3 多群番	8
送信、受信をさげる方法	12
送信、受信をずらす方法	10
群番号を読み取らせない方法	6
通話を聞かれなくする方法	11
群番を解読する方法	6
タイマーカット	12
CHを静かにさせる方法	10
その1 サイドワインダー	10
その2 制御妨害	6
相手を落としたい時	10
その1 サイドワインダー	10
その2 強制リセット	12
無線機の健康状態を見る方法	12
電監の取り締まりに合った時。	1